



社会福祉法人 松柏児童園 (理事長 新井隆司)



# 西台こども館

第4号

平成22年8月

〒174-0045 東京都板橋区西台 1-27-10 電話：03-5920-1122、Fax:03-5945-4152

HP: <http://shouhaku.jp/>

編集・発行 西台こども館広報担当

## □□□□□□□□園長挨拶□□□□□□□□□□□□□□

私が、西台こども館の園長になって、4ヶ月が経ちました。

新設3年目(実質2年と1ヶ月)の新しい施設(東京都内では約30年ぶり)であること、私自身が児童養護の分野での仕事が初めてということで、こどもたち、職員の間には混乱が起こることを心配しましたが、前園長が副園長として残っていただいたこと、東社協児童部会の各園長先生方のご指導ご支援、理事長他理事の皆様のご理解ご指導、そして職員の変わりない業務への熱心な取組みのお陰で何とか大過なく「こども館」が運営できていることに感謝しています。

新井理事長は多くを語らないが、「大変な仕事だと思いがしっくりやって欲しい、何といってもこどもは可愛いからね!」「こどもたちが将来いつでも気軽に立ち寄れる実家になるように」「施設」という用語は使わないように」という言葉を忘れないよう肝に銘じている。

これから職員の方々が10年、20年安心して勤務を続けることができ、西台こども館が関係者の信頼・期待に応えてこどもたちを守り、安心して家庭・社会へ送り出せる基盤作りが自分に課せられた仕事であると考えています。

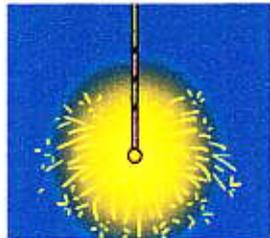
そのために、まず基本となるルールの徹底、給与体系他労働条件の見直し、職員間の意思疎通の活発化等に取り組みたいと考えています。

「こどもが主役であり、我々の財産である」ことを常に念頭に置き、こども館の目指すべき理念・目標を明確にし、日々のひとつひとつのこどもとの関わりを大切にしていきたいと考えています。

園長 田宮 實

(追伸)

「西台こども館」は前回第3号をお届けしてから、この第4号まで1年間経ってしまいました。年間2回を目標に、次回(来年2月予定)はユニットからの報告を中心に編集します。乞うご期待!!!



## ボランティアさんとの交流



カット  
ボラさん

\*6月29日、「SAN 's FIN」の皆さんが子どもたちの髪の毛を素敵にカットしてくださいました。お店が休みてゆっくりしたいところ、豊釜店長始めスタッフの皆様ありがとうございました。



学習  
ボラさん

\*7月4日、学習ボランティアさんが集まり情報交換会を行いました。週一回、一対一で勉強を教えていただいています。

音楽  
ボラさん



おもたけど  
大丈夫 ♡



たくさん  
練習しました😊

\*7月18日、東京音楽大学アクトプロジェクトによる恒例のサマーコンサートが開催されました。この演奏に憧れ、管楽器クラブに入った子どもたちと、初セッション！素敵なひと時をすごしました。

ボランティアのお問い合わせは、下記の担当まで  
津田 小林

### ユニット調理に取り組んで

四季折々の美しい西台こども館の調理を担当して3度目の夏を迎えます。子供たちの目の前で調理することはたくさんメリットがあると思います。食材を切る音や加熱するときに出る香りが視覚と嗅覚を刺激し、食欲をそそります。「今日はユニット調理ですよ」と声をかけながらユニットに入ると「今日、何〜？」と尋ねてくる子供が必ずいます。「今日はお魚ですよ」と言うと、「ヤダ」「嫌い」と返ってきます。「今日はお肉ですよ」の声かけには「うれしい」「やった!」の元気な声が大半です。子ども達の声が直接聞けるうれしい一瞬です。最近では盛り付けを手伝ってくれる子供たちが徐々に増えてきていることもより家庭に近づいている証だと思っています。「いただきます!」のあいさつ後、子供たちのおしゃべりに耳を傾けたり、時には食材についての話をします。子供たち1人ひとりの反応も個性的で日々の成長を垣間見た気がします。正しい食生活を身につけることはとても大事なことで、それは予防医学にもつながるそうです。食を通して命を学ぶことにもなります。大切な命を子供たちと一緒に考え、また、にこにこおいしそうに食べる子供の笑顔をいつまでも見守っていきたいと思います(調理員：田島洋子)。

早いもので私が西台こども館に働くようになって2年近く経ちました。働き始めたときは、入所している子供達の数も少なく、食事を作るのもとても少なかったです。そして、子供達の数が増えてきて、1年前ぐらいから調理員が各ユニットに入って調理するようになってきました。始めたばかりの頃は、どこに何があるかさっぱりだし、野菜を切ったり、洗ったりするスペースが狭かった。それでもユニットで調理し始めて思ったことは、やはり子供達の様子を見ながらできるのはとてもいいことだと思いました。3階の調理室でやっている時は、なかなか子供達とお話ししたりできないし、表情とかも見れなかった。これから先まだ、どのようにユニット調理をやっていくのかわかりませんが、私は子供達一人ひとりが「おいしい!」とってくれるように愛情たっぷりの料理をこれからも提供していけたらいいな、と思っています。みんなの笑顔が僕ら(私たち)調理員の栄養です!!!(水殿勇一)

### 西台こども館と治療指導員：田村 裕

私たち治療指導員(私と逸見恵理)が西台こども館で働き始めて1年が過ぎました。この「西台こども館」を読まれている方々は『治療指導員』と言われても、何をやる人達かわからないという方が多いかもしれません。そこで、私たち治療指導員の自己紹介をさせていただきます。治療指導員は、『さまざまな理由によって西台こども館で暮らすことになった子どもたちが、必要に応じて、日常的に心理的なケアを受けることが出来るようにする』ことを目指して仕事をしています。心理室での面接だけでなく、各ユニットをまわって普段の生活で子どもたちと心理的な視点から話をしたり遊んだり、ケア・ワーカーの方々と子どもの色々な特徴について話し合ったりします。西台こども館にはいつもいるわけではないので、普段はあまり目立ちませんが取組みの一つとして覚えていただくと嬉しいです。

### 避難場所について

西台こども館では毎月、災害を想定した避難訓練を行っています。実際に避難が必要な災害がおきた場合には園の敷地内に一時避難をします。その後必要に応じて板橋区指定の避難場所(志村第五小学校)や広域避難場所(都立赤塚公園付近)に避難することになっています。

## 入園・入学おめでとう

平成22年4月、10名の新生が誕生しました。

- (1) 3名の男子(K君、T君、Y君)が徳丸幼稚園に入園しました。
- (2) 同じく2名の女子(Rちゃん、Mちゃん)が徳丸小学校と志村第五小学校に入学しました。
- (3) 新中学生には、4名(西台中学、男女各2名、Kさん、Mさん、A君、K君)が、  
Aさんが高校(北豊島工業高校)に入学しました。  
バスケットボール、剣道、柔道、吹奏楽そして釣り部に所属しています。  
それぞれのペースで部活動にも取り組んでいます。

## 入職おめでとう！！

新任職員紹介(平成22年4月以降)

飯尾直也(O型)4月1日新規採用。  
好きなのは犬、寝てる時が幸せです。  
ボランティア、アルバイト、実習として  
就職とこども館一筋です。



川口純平(A型)4月1日新規採用。  
こども館での仕事にはまっています。  
こども館で学習ボランティアをやっ  
ていました。



立澤軸子(O型)『専門機能強化型施設』  
の医師、4月1日から、植物を種子から  
育てることが趣味、こども館を気に入っ  
ています。



竹田信之(B型)8月1日採用。  
ゴルフが好き、子育て中、職住大接近で  
す、民間会社の経理部から転職です。



## 夏の行事

2010年夏も、4つの年齢グループに分かれて宿泊行事を次の通り実施しました。子ども達、そして担当職員の皆様お疲れさん、でもきっと楽しい思い出が一杯出来たことでしょう！！



恒例の小学1・2・3年生 千葉・興津臨海  
(東社協児童部会主催) ボランティアグループ「おもいつき」の皆様ありがとうございます！  
8月9日～11日の2泊3日



中学生キャンプは外房・鶴原海岸  
7月27日～29日



小学校(4～6年生対象)キャンプは福島県へ、山と海を満喫しました。8月2日から4日の2泊3日。土ぶえ作り・バーベキュー・花火・海水浴・スイカ割り・肝試し。  
ほんとうに 楽しかったなあ～



幼児さん(2歳から年長さんまで)のキャンプは福島県のいわき海岸に行ってきました。毎日天候に恵まれ、真黒になりました。  
8月17日～19日。

8月27日板橋区の『ホテル飼育場』でホテル見学に行きました。高校生から小五の8名が参加。(株)ビックカメラの野口さん、LGEの鈴木さんのお世話になりました。ホテルが生息できる環境の再生に日本はおろか海外でも取組んでおられる阿部宣男施設長の熱心で具体的な説明に子どもたちも感銘を受けたようでした。ハチとホテルの関係も初めて知りました。すべての人にお勧めしたいと思います。  
お問合せは；板橋区ホテル飼育施設 03-5970-5001

# 江戸っ子杯争奪ドッジボール大会

平成22年8月5日9:30～東京体育館にて開催。西台こども館チームも昨年に続き、決勝トーナメント（上位8チーム）に進むべく力いっぱい戦ったが……………。



一回戦：対「石神井学園」 2：5で敗れる。

二回戦：対「子供の家」 4：5で敗れる。

調子が出ないまま予選リーグ2連敗で西台こども館の夏は終わったが、子どもたちは、丸山さん竹田さんが持ってきてくれたおにぎり、から揚げ、卵焼きとデザートのにぎりに舌鼓を打ち、元気に帰路に着きました。ちなみに優勝は「カリタスの園小百合の寮」が2連覇、準優勝は「星美ホーム」（いずれも事前練習試合で戦った相手）。

## 志村第五小学校登校班行事



PTAのお母さんと共同で、隣地の竹を活用した水鉄砲作りと焼きそばを食べる行事が西台こども館の玄関、3階ホール他を会場に80名余の近所の小学生の参加を得て盛大に開催されました。子どもたち大満足、PTAのお母さん、担当職員ぐったり……………

## ありがとうございました(平成21年9月~平成22年8月)

### 《寄付金》

伊藤康治、佐藤正昭、佐野勝也、ケアクレスト・オリーブマッサージ治療院、山田登、駒林素行

### 《寄贈品》

(株)フィールズ、(社)東京馬主協会、セカンド・ハーベスト・ジャパン、瀬谷恵子、(株)チュチュアンナ、(株)文化放送(善)、東京都アミューズメント施設営業者協会(善)、吉江英夫、全国シャンメリー協同組合、(株)メリーチョコレートカムパニー(善)、日本鏡餅組合、NPO 法人リビングドリームス、松田利之、小華和三舟、伊藤康治、フローラン・ダバディ(善)、内田光子、坂本茂樹、秋葉英子、小西祐伸、佐藤正昭、(財)資生堂社会福祉事業財団、伊戸川・ハッピーママ、宮嶋宏幸、東京善意銀行、立澤岫子、NPO 法人松柏緑の大地、アムウェイ子ども基金、朝日税理士法人、(有)おぎの、社団法人日本将棋連盟、(株)シダックス志田勤一、サンパレス新小岩店(善)、ご近所の方々(竹内、白石、木下家)

### 《招待》

東京都個人タクシー協同組合板橋第一支部、松野はつ子(貴星)、東京善意銀行(株)ビックカメラ、LGE

(順不同・敬称略、(善)は東京善意銀行経由で戴いたものです。)

### 西台子ども館在籍職員一覧(平成22年8月末現在)

(園長)田宮 (副園長)丸山(文) (事務長)竹田 (総括主任&FSW)斎藤 (事務)岸本、沼田  
(ユニット担当)「かしわ」太田、石川、鈴木(浩)、後藤 「もみじ」西松、渡邊、吉江、飯尾  
「まつ」鈴木(康)、大貫、野呂、川口、高崎 「いちょう」森脇、小林、堀欠、松山  
(心理担当)田中(個別対応)津田 (機能強化型)立澤(医師)、木村(児童指導員)、田村・逸見(治療指導員)  
(調理)丸山(み)(栄養士)、田島・高山・下屋敷・水殿(調理員) (パートさん)真壁、内田、藤原  
(嘱託医)大山

# 平成 21 年度 決算報告

## 事業活動収支計算書

(西台こども館)

(単位：円)

勘定科目		決算額	
事業活動 収支の部	収 入	措置費収入	153,496,076
		補助金収入	58,193,345
		寄付金収入	676,000
		雑収入	3,753,640
		国庫補助金等特別積立金取崩額	4,616,382
	入	事業活動収入計(1)	220,735,443
	支 出	人件費支出	155,791,711
		事務費支出	10,495,077
		事業費支出	31,837,409
		減価償却費	14,717,934
引当金繰入		1,544,680	
出	事業活動支出計(2)	214,386,811	
	事業活動収支差額(3) = (1) - (2)	6,348,632	
事業外 収支の部	収入	受取利息配当金収入:事業外収入計(4)	15,667
	支出	事業活動外支出計(5)	0
		事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)	15,667
	経常収支差額(7) = (3) + (6)	6,364,299	
特別 収支 の部	収入	特別収入計(8)	0
	支出	特別支出計(9)	0
		特別収支差額(10) = (8) - (9)	0
	当期活動収支差額(11) = (7) + (10)	6,364,299	
繰越 活動 収支 差額 の部		前期繰越活動収支差額(12)	△121,766,815
		当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	△115,402,516
		その他の積立金積立額(人件費積立金積立額)(14)	10,000,000
		次期繰越活動収支差額(15) = (13) - (14)	△125,402,516

**編集後記：**今年の夏は記憶のないほど連日猛暑が続きました。皆様いかがお過ごしでしたか？

西台こども館でも、多少へばり気味の毎日でしたが、宿泊行事(キャンプ)は全員参加で天候にも恵まれみんなへトへトになるまで海に山に動きまわりました。来年3月初めの卒園生がです。後に続く高校生も3人います。中学生の塾通いも始まっています。18歳の春にいやおうなしに社会に出ていく子どもたちに何が出来るか職員全員悩みの深まった夏でもありました。